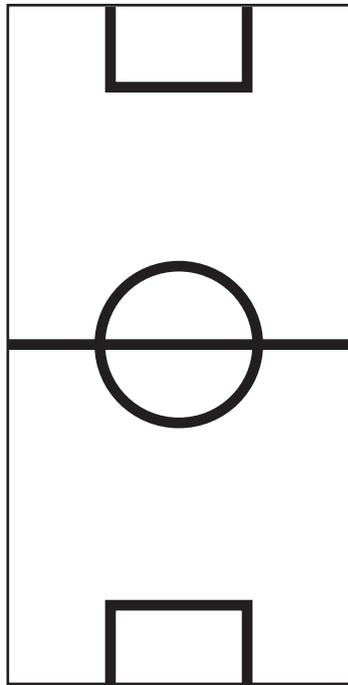
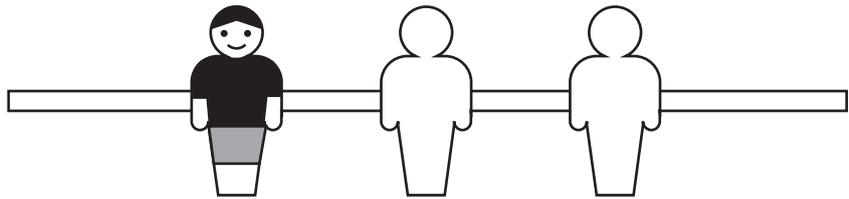
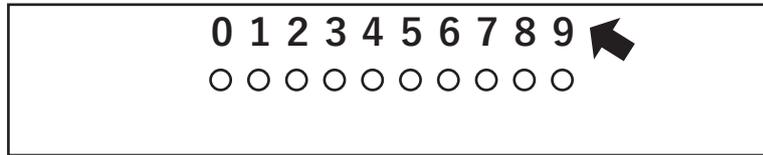


● テーブルサッカーゲームの作り方 ●

- ①底板、点数を書く板、人形、ボールに、絵の具やマジックで絵や文字を描く。
三角ピン、持ち手の丸棒を塗る。



※最後に三角ピンを穴に差すので数字は上の方に描いてください。

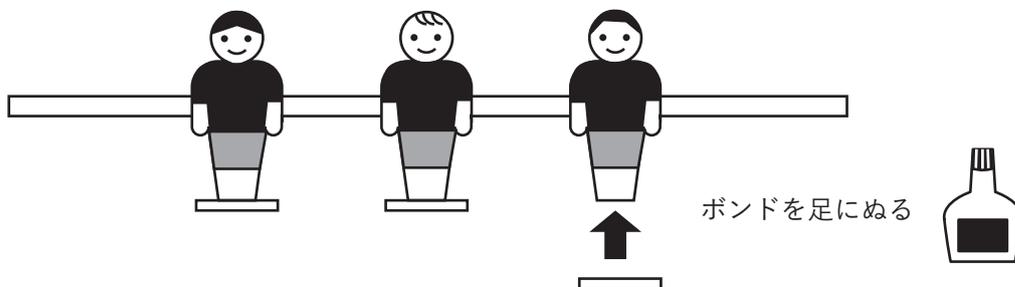


Point!

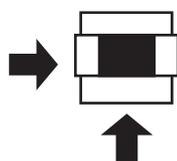
木に色をぬるときは、にじみやすいので、
アクリル絵の具は水でうすめずにぬりましょう。
ポスカや油性マジックもゆっくり描くと
にじむので手早く描きましょう。



- ②人形に板（準備が必要なもの⑦の板）をボンドで貼り付ける。



人形を上から見たところ↓



板は真ん中に！

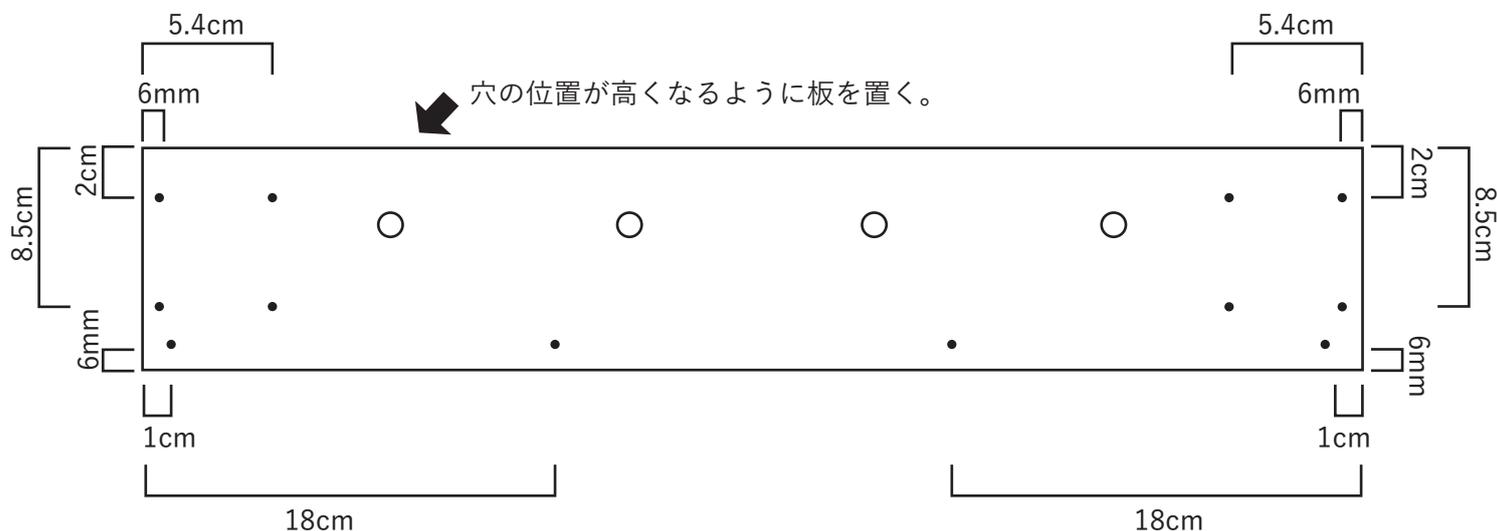
Point!

足は4センチの正方形です。
人形の足にボンドをつけて、
上下左右の真ん中にくるように板を
貼り付けましょう。



* 絵の具やボンドがしっかりと乾くまで待つ *

- ③側板にキリで、釘を打つための下穴を12か所あける。(2枚とも同じようにする)
下の図のように定規で測り、12か所の印を鉛筆で書く。



キリの使い方

穴を開けたい所にキリの先を合わせ、
真上からキリが真っ直ぐに立っているかを確認、
両手ではさみ込むように持ちます。
両手を上から下にこすり合わせるようにして
キリを回転させながら、穴を開けていきます。

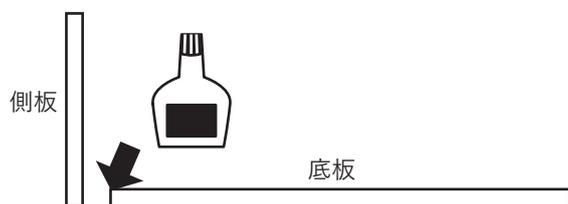


Point!

そのまま釘を打つと、うすい板は
われてしまいます。
釘を打つ前にキリで板の厚みの
半分以上の下穴を開けましょう。



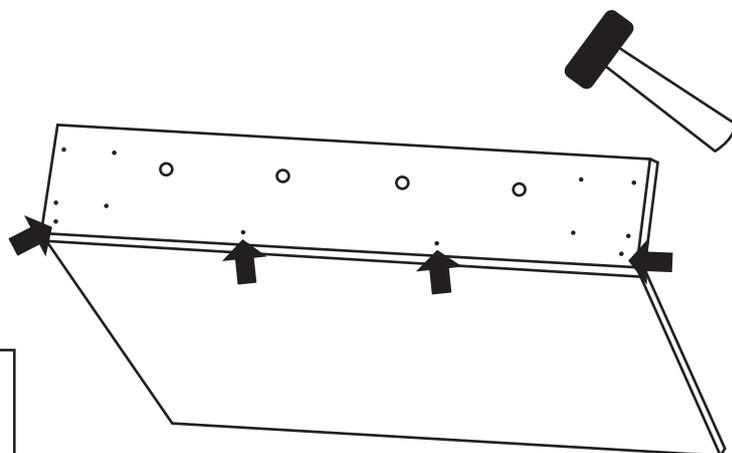
- ④底板の側面にボンドをぬり、金づちで釘を打つ。



うすくボンドをのばして底板の
側面全体にぬる。

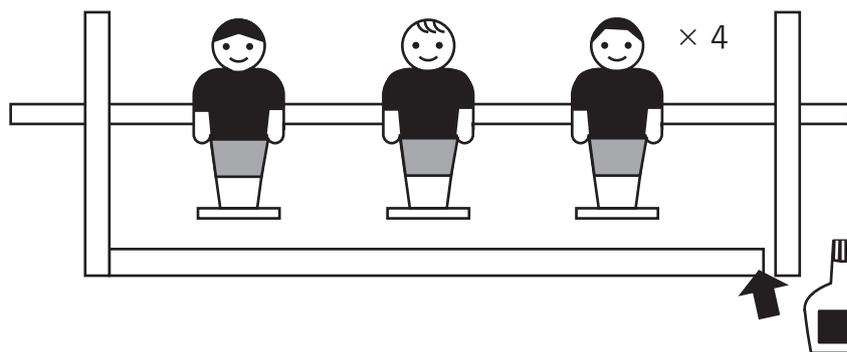
金づちの使い方

釘を下穴にまっすぐ差し、打ち始めは、きき手で
金づちの柄の頭を持ち、軽く打ち込みます。
ある程度まっすぐに入ったら、柄の後ろを持ち、
少し強めにリズムカルにたたきながら
打ち込んでいきます。

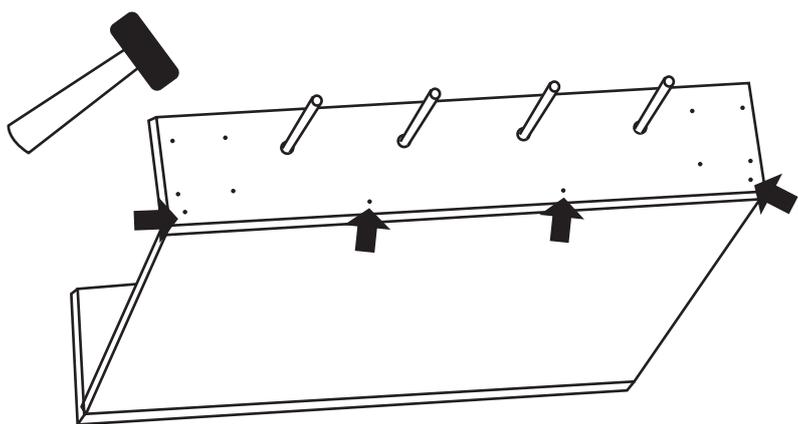


下の4か所の穴に金づちで釘を打ち、
底板をつける。

⑤人形を4本とも側板の穴に通し、反対の側板もボンドをぬり、金づちで釘を打つ。



うすくボンドをのぼして底板の側面全体にぬる。



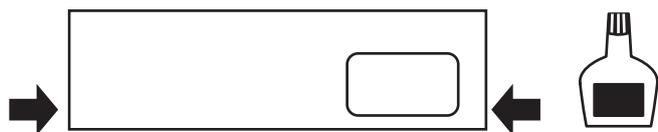
下の4か所の穴に金づちで釘を打ち、底板をつける。

Point!

人形の棒がつかえるので、斜めから釘打ちをします。1人ではむずかしいので、誰かに板を支えてもらいながら打ちましょう。

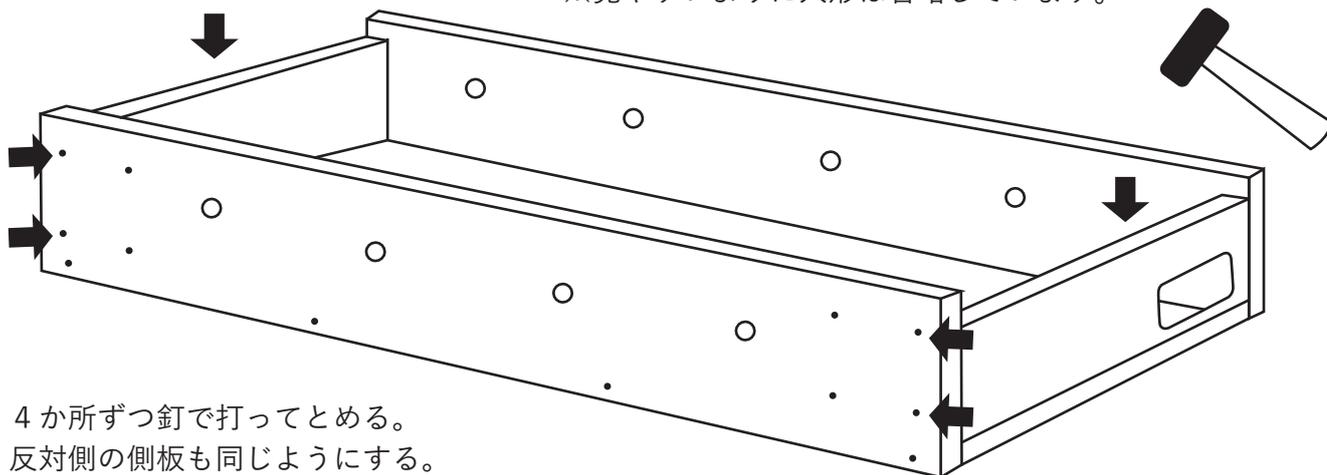


⑥ボール取り出し口のある板の両側面にボンドをぬり、間に入れて横から釘を打つ。



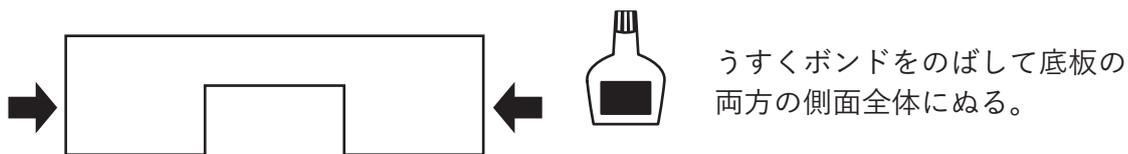
うすくボンドをのぼして底板の両方の側面全体にぬる。

※見やすいように人形は省略しています。

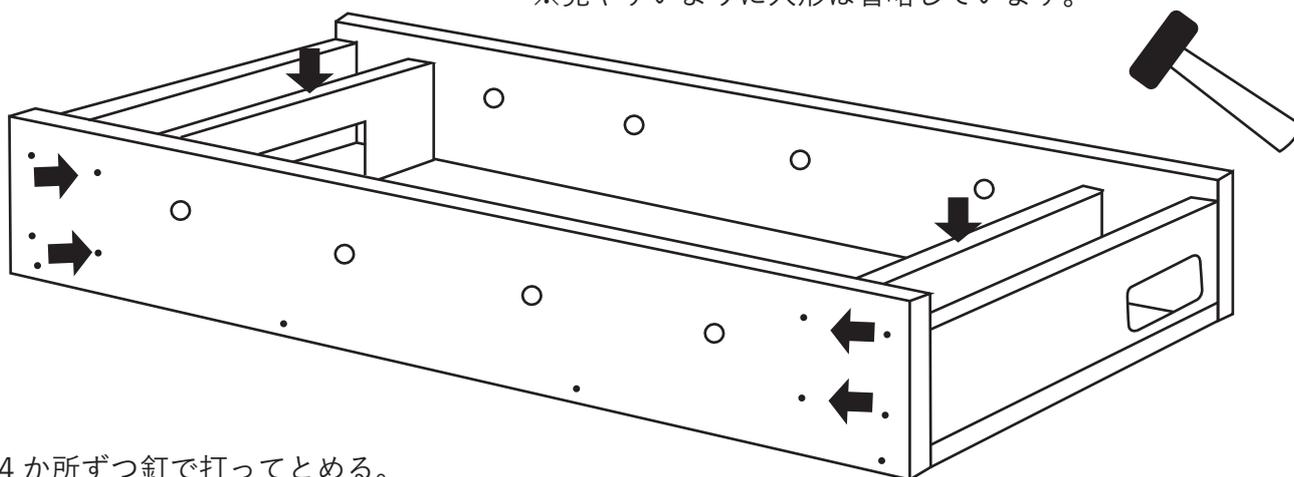


4か所ずつ釘で打ってとめる。
反対側の側板も同じようにする。

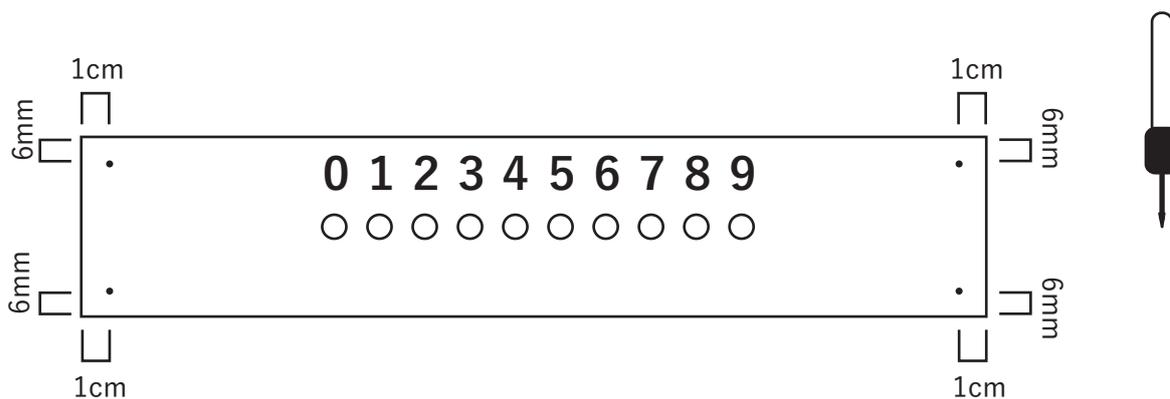
⑦ゴール用の板の両側面にボンドをぬり、間に入れて横から釘を打つ。



※見やすいように人形は省略しています。



⑧点数を描いた板に、釘を打つための下穴をあける。(2枚とも同じようにする)



Point!

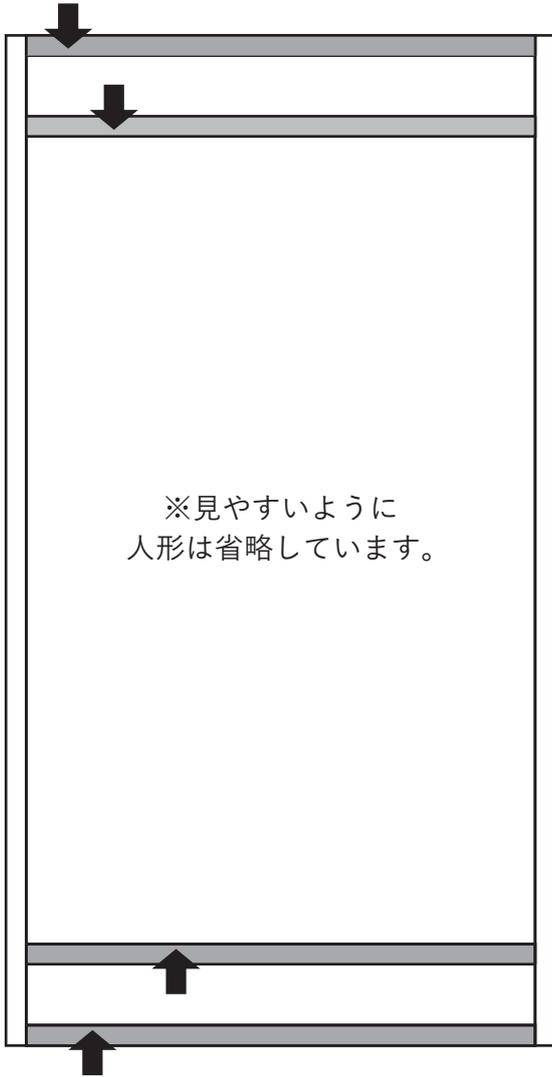
木の端の方を釘で打つとわれたり、欠けたりしやすいです。しっかり下穴を開けましょう。下の板にまっすぐ釘が入るように、穴の位置もずれないように測りましょう。



⑨ボンドをぬり、点数を描いた板をのせて釘を打つ。



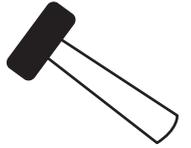
この面にうすくボンドをのばしてぬる。



この面にうすくボンドをのばしてぬる。

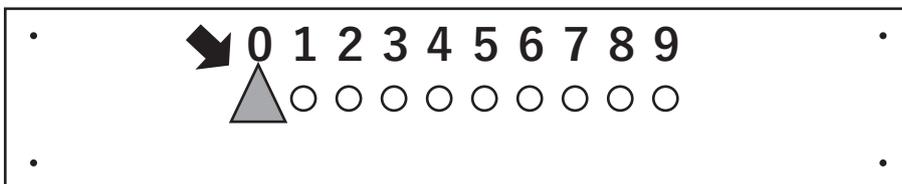
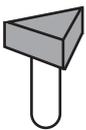


4か所の下穴に釘を差し打つ。



4か所の下穴に釘を差し打つ。

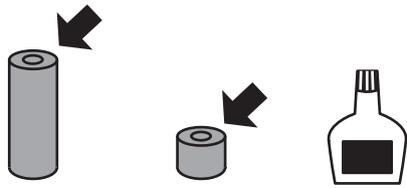
⑩点数を描いた板の穴に、三角ピンを差し込む。



※穴に入りにくいときは紙やすりで棒をみがいてください。

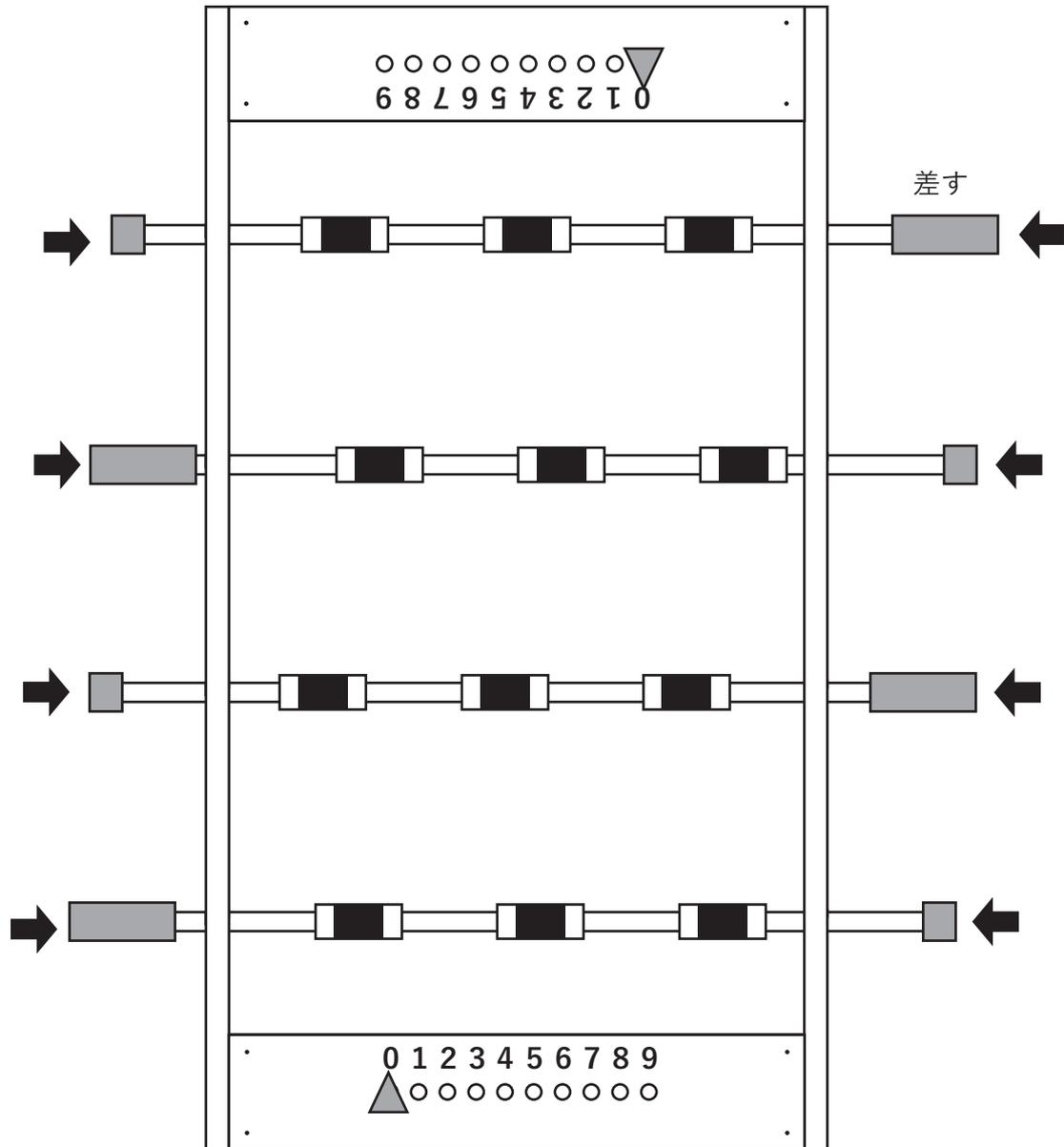
⑪持ち手にボンドを入れて、丸棒の先に差す。

穴の中に少しボンドを入れる。



Point!

持ち手の大きさが、大・小、交互になるように注意してつけましょう。
ボンドを入れすぎるとあふれるので注意しましょう。



* 持ち手につけたボンドが乾いて、動かなくなるまで待つ*
(その間にサッカーゲーム本体の箱の角やざらついた面を紙やすりでみがく。)

